外郭団体評価調書【株式会社用】

1. 基本情報

平成26年7月1日 現在

団体名	株式会社 まちづくり豊栄		1 /4/4 2 0	
所在地	新潟市北区東栄町1丁目11番7号	T-7-1		
代表者(職·氏名)	代表取締役 金城道夫	電話番号	025-386-1212	
(所属・職)	白新町1丁目自治会会長	ホームページ	http://www.to	yosaka-tmo.com
市所管課	北区役所産業振興課	電子メール	tmo@icss.jp	
基本財産 (基本金)	33,300 千円	設立年月日	平成15年7	月30日
	氏名・団体等名称	出資等	額	出資等比率
	新潟市		16,650 千円	50.0 %
	一般株主(市民・企業)		16,650 千円	50.0 %
出資者			千円	%
			千円	%
			千円	%
			千円	%
設立目的	事業者や市民、新潟市などの出資による街地及びまちづくりの活性化を図る。			進により, 中心市
経営理念 経営方針	まちづくりを通じて、地域の賑わいと安らさ・環境を大切にし、地域のくらしに貢献す・社会的信頼・信用の高い企業		さす	

2. 主要事業

事業名 ①				事業概要				
北区観光協会運営業務受託事業				観光協会の管理運営	営業務, 観光PR事	業及び特産品PR事	事業を行う。	
事業区分	主体区分	収支区分) 単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)	
_		収入額	千円	3,000	3,000	3, 000	3,000	
活動指標・原	 戊果 目標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
①今日の確定	BĮ.	計		112	110	107	105	
①会員の獲得実績			積	108	106	102		
②PR事業 計画 実績		画	10	11	10	10		
		績	7	8	7			

事業名 ②				事業概要					
TMO管理運営事業				中心市	方街地活性化事業の	の推進及び支援を行	行う。		
事業区分	主体区分	収支	区分	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)	
_	_	収入	類	千円	0	0	0	0	
活動指標・原	 大果目標			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
①世紀古の海	C.州·禾吕 仝 問	/定	計画	口	0	0	0	0	
① 葛塚市の活性委員会開催 実績			実績	Ш	3	0	0		
(2)個店支援		計画	店	65	63	60	80		
		実績	卢	60	60	80			

	事業名 ③				事業概	要	
ふれあいセン 事業	ター管理運営	営業務受調	E ふれる	らいセンターの受付	け業務を行う。		
事業区分	主体区分	収支区2)単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
		収入額	千円	1,633	1,640	1, 633	0
活動指標・原	 大果目標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
①利用回数		計	画回	2,830	2,750	2, 800	
山 利用四剱		実	績	2, 732	2, 900	2, 097	
(2)末 田 人 数		画	36, 500	33, 730	39, 000		
		実	積	33, 714	40, 169	27, 464	

事業名 ④						事業概.	要	
とよさかシーバ	レ会業務受託	事業		とよさかシール会業務受託事業				
事業区分	主体区分	収支	区分	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
_		収力	人額	千円	240	180	0	0
活動指標・成	以果目標			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
①運営委員会	`		計画	□	10	10	0	
①連呂安貝=	=		実績		7	2	0	
②加盟店			計画	店	90	85	50	
②/加盆/占			実績	卢	84	71	33	
	事業名 ⑤			事業概要				
ヤマザキショッ	プ豊栄駅店	収益事	事業	ヤマザキショップ豊栄駅店の経営を行う。				
事業区分	主体区分	収支	区分	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
_	_	支占	出額	千円	27, 732	27, 587	27, 403	29, 811
活動指標・原	活動指標・成果目標			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
①ヤマザキシ	ョップ豊栄駅	店の	計画	千円	30, 194	29, 528	28, 176	31,000
売上げ	T			1 1 1	28, 122	27, 356	27, 302	

3. 組織等の状況

(1) 役職員数の状況

(単位:人)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
役員数	11	11	11	8
常勤	0	0	0	0
市派遣				
市職員OB				
プロパー役員				
他団体からの派遣				
非常勤	11	11	11	8
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任	10	10	10	8
その他	1	1	1	0
職員数	14	14	14	21
常勤	1	1	1	1
市派遣				
市職員OB				
プロパー職員	1	1	1	1
他団体からの派遣				
非常勤	13	13	13	20
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	13	13	13	20
見直し等の取組み				

(2) 職員の状況(市派遣職員を除く。)

(単位:人)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	管理職	1	1	1	1
職員の状況	一般職	13	13	13	20
	合計	14	14	14	21
	20代以下		0	0	
	30代	4	0	0	
年齢構成	40代	2	5	5	5
平断博队	50代	4	4	4	8
	60代以上	4	5	6	8
	合計	14	14	15	21

(3)役員報酬・職員給与等の状況

(決算 単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度予算
報酬・給与等	11, 435	8, 279	11, 969	17, 912
内 市職員分	0	0	0	0
役員	0	0	0	0
常勤				
内市職員分				
非常勤				
内市職員分				
職員	11, 435	8, 279	11, 969	17, 912
常勤	2, 412	2, 412	2, 412	2, 412
内市職員分				
非常勤	9, 023	5, 867	9, 557	15, 500
内市職員分				
平均年収(市職員を除く。) 常勤役員				
常勤職員	2, 412	2, 412		
見直し等の取り組み	食)の新規見習い日	うどん・そば屋(一片食)は営業不振のため、H24.10.31閉店。 委託方式による「ラーメン屋・勝鬨屋」と契約し、H25.4月に開店した。	「道の駅豊栄」現場駅長3名と事務職員1名をH26.4.1から採用。	「道の駅豊栄」売店の営業権取得に伴い従業員7名をH26.4.1から採用。

(4)給与等の適正化の状況(市派遣職員を除く。)

	現在の給与体系		今後の見	直し予定	
•	団体独自の給与体系		有 予定時期	年度~	
	市の給与体系を準用	•	無		
	その他 [その他 [)

4. 財務の状況

(1) **損益計算書** (決算 単位:千円)

			平成23年度	平成24年度	平成25年度
		営業収益(売上高)	38, 599	36, 076	64, 894
	堂	営業費用	46, 013	38, 925	59, 855
	営業損益	売上原価	25, 757	24, 072	30, 738
経	損	事業費			
経常損益	無	販売費•一般管理	20, 256	14, 853	29, 117
損		営業損益	▲ 7, 414	▲ 2,849	5, 039
盆	営業外	営業外収益	34	12	15
	益条外	営業外費用	2	0	0
	損	営業外損益	32	12	15
		経常損益	▲ 7, 382	▲ 2,837	5, 054
+= ++	特別和	刊益	5, 936	0	15, 400
損特 益別	特別推	員失	3, 386	0	0
		特別損益	2, 550	0	15, 400
	税引	前当期損益	▲ 4,832	▲ 2,837	20, 454
法	人税, 化	住民税及び事業税	184	181	4, 239
当期損益			▲ 5, 016	▲ 3,018	16, 215
前期繰越損益			1, 073	▲ 3,943	▲ 6,961
	当期未処分損益		▲ 3, 943	▲ 6,961	9, 254
	利益処	见分額	0	0	0
分益	次期約	操越損益	0	0	0

(**参考**) (決算 単位:千円)

(別	掲)人件費	11, 775	8, 637	12, 537
	役員分	0	0	0
	職員分	11,775	8, 637	12, 537

(決算 単位:千円) (2) 貸借対照表

				平成23年度	平成24年度	平成25年度
	資產	産の)部合計	32, 883	28, 779	55, 304
		流	動資産	26, 681	24, 245	36, 073
			現金預金	24, 604	22, 020	29, 924
			受取手形			
咨			未収金	807	807	3, 385
資産の			有価証券			
の			その他流動資産	1, 270	1, 418	2, 764
部		固	定資産	6, 202	4, 534	19, 231
			有形固定資産	4, 667	2, 999	17, 596
			無形固定資産	57	57	57
			その他投資等	1, 478	1, 478	1, 578
		繰	延資産			
	負債	責の)部合計	3, 526	2, 440	12, 750
		流	動負債	3, 162	2, 440	9, 474
負			短期借入金			
債の			その他流動負債	3, 162	2, 440	9, 474
部		固	定負債	364	0	3, 276
			長期借入金			
			その他固定負債	364		3, 276
	純貧	資産	の部合計	29, 357	26, 339	42, 554
純		資	本金	33, 300	33, 300	33, 300
純資産		法	定準備金			
座の		剰	余金	▲ 3, 943	▲ 6,961	9, 254
部			うち当期未処分損益	▲ 3, 943	▲ 6,961	9, 254
			(当期損益)	▲ 5,016	▲ 3,018	16, 215
負債	責の	部	及び純資産の部合計	32, 883	28, 779	55, 304

(3) 市財政支出等の状況

(決算 単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
市財政支出等の合計	1,633	1, 640	1, 733
補助金	0	0	0
事業費補助金			
運営費補助金			
設備投資に係る補助金			
負担金			
交付金			
委託料	1,633	1,640	1, 733
内 随意契約額※	1,633	1,640	1, 733
貸付金(期中借入額)			
出資・出捐金(追加額)			
その他			
貸付金残高			
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免, 建物の無 貸与等)	括償		

※ 随意契約額とは、市との一者随意契約による委託料及び非公募による指定管理者料をいう。

(市財政支出等がある場合) 目的, 内容, 必要性, 増減理由等

- ・ふれあいセンター受付業務委託料(25年度で終了)・自転車無料貸出業務委託料(25年度~)

5. 経営改善状況 (評価指標)

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

(1)財務の健全性

経常損益	▲ 7, 382 =	千円	4 0 007			
77 Hu 18 74			<i>▲ 2,837</i>	千円	5, 054	千円
当期損益	▲ 5, 016 =	千円	▲ 3, 018	千円	16, 215	千円
自己資本比率	89.3 %	%	91.5	%	76. 9	%
流動比率 流動資産 流動負債	843.8 %	%	993. 6	%	380. 8	%
固定長期適合率 固定資産 固定負債+純資産	20.9	%	17. 2	%	42.0	%
借入金依存度 借入金 資産の部合計	0.0 %	%	0.0	%	0.0	%
剰余金(欠損金) 純資産 一資本金(基本金)	▲ 3, 943 =	千円	▲ 6, 961	千円	9, 254	千円
資金運用 基本財産としての 有価証券の保有 無	② 資金X ③ 資金X	運用和運用に	を明文化し、それに 対率は市場金利のに に関する情報収集に カリスクはない。	水準を	確保している。	

(2)団体の自立性

	指標	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
市職員比率	常勤職員数(市職員)	0.0 %	0/	0.0	0/	0.0	0/
	常勤職員数	0.0	/0	0.0	/0	0.0	/0
財政的依存度	市財政支出	4.2 %		4.5 %		2.7 %	
	経常収益	4. 2	/0	4. 0	/0	2.1	/0
運営費補助比率	市運営費補助金	0.0	0/	0.0	0/_	0.0	0/_
	経常収益	0.0	/0	0.0	/0	0.0	/0
随意契約比率 市随意契約額		100. 0	0/	100. 0	0/	100.0	0/_
	市委託料	100.0	/0	100.0	/0	100.0	/0

(3)経営の効率性

(O) 性呂の別年は 									
	指標	平成23年度		平成24年度		平成25年度			
総資本経常利益率	経常利益	▲ 22.4	0/2	4 9.9	0/2	9. 1	0/2		
	資産の部合計	22. 4	/0	4 9. 9	70	3. 1	/0		
売上高経常利益率	経常利益	4 19. 1	0/_	4 7.9	0/_	7.8	0/_		
	売上高	19. 1	70	1.9	/0	1.0	/0		
総資本回転率	売上高	1. 2		1.3		1. 2			
	資産の部合計	1. 2		1. 3		1. 2			
職員1人当たり	売上高	2, 757	千円	2, 577	7	4, 635	十日		
売上高	職員数	2, 101		2, 311	1 1	4, 033	1 1 1		
職員1人当たり	経常利益	▲ 527	千円	▲ 203	千 田	361	千円		
経常利益	職員数				111	301	1 1 1		
売上高販管費比率	販売費及び一般管理費	<i>52. 5</i>	0/	41. 2	0/	44. 9	0/0		
	売上高	02. 0	/0	41. 2	70	44. 3	/0		
職員1人当たり	販売費及び一般管理費	20, 256	千 田	14, 853	千 田	29, 117	H H		
管理費	職員数	20, 230	1 1	14, 000	1 1	29, 117	1 1 1		
人件費比率	人件費	30. 5	0/2	23. 9	0/2	19. 3	0/2		
	売上高	30. 9	7/0	23. 9	/0	19. 3	/0		
役員人件費比率	役員人件費	0.0	0/	0.0	0/	0.0	0/		
	人件費	0.0	%	0.0	/0	0.0	/0		

(4)経営の適正性

① 中長期計画の策定状況									
● 有 計画名称 (ステップ・アップ2016)計	一画期間	平成21 ~	平成28 年度					
概要・数値目標									
中期(平成21年度~平成23年度) 長期(平成24年度~平成28年 <概 要>・空き店舗活用による新規収益事業 ・賑わい創品 <数値目標>・ヤマザキショップ豊栄駅店の初年度赤字の解消 ・ヤマザキショップ豊栄駅店の50万円以上黒字の編 ・新規事業の初年度黒字 ・新規事業の2年目以降100万円以上黒字	出 · Ē	寄品開発と則	反売システムの 材						
無未策定理由無〔									

2 #	経理の適正化の取組み								
専門家による監事・監査役就任				専門家による会計指導					
	有	就任時期 依頼先職種 〔	年度~)	•	有	依頼時期 平成15 年度~ 依頼先職種 [[] 公認会計士(有)風間会計社 []]		
•	無					無			

3	事務処理	埋改善の取組み	
•	有	取組内容 平成22 年度~ 株式会社まちづくり豊栄事務専決規程	
	無	你只不任よりノくり豆不事物导队然性	J

4	人材育原	ずの取組み		
	有	取組内容	年度~	
•	無			J

⑤ 情	⑤ 情報公開に関する規定の整備状況									
	有	策定時期	平成 年度~		•	定款等	平成22 年度~			
	用	規定名称		団体	•	事業内容	平成19 年度~			
					•	役員名簿	平成19 年度~			
		•		1		役員報酬	年度~			
	無	未整備理由	未整備理由 規程を整備するほどの事業規模にないと いう判断でしなかったが、必要性を含め	ムペ	•	事業報告	平成19 年度~			
	***	規程を整備する		ージョ		損益計算書	年度~			
	_	いう判断でしな				貸借対照表	年度~			
		て検討する。	掲載	•	事業計画書	平成19 年度~				
		`			•	予算概要	平成22 年度~			

6. 経営改善状況 (個別の取組み)

(1) 前年度までの評価における【今後の取組み】の改善状況

今後の取組み |地域全体の物流をつくる(ブランド化によるまちづくり, 賑わい創出) (平成23年度評価においても、【今後の取組み】として設定) 改善・対応区分 改善・対応済み ● 改善・対応中 検討中 実施しない ブランド化によるまちづくりをまとめあげることはできなかったが、北宝隊、北 前年度の改善・対応内容 区観光協会との連携によりバスツアーを支援。プレDCバスツアーも支援した。 1 今後の改善 引き続き、ブランド化、物語(ストーリー)づくりを継続。中長期計画の前倒し 今 見直しに組み入れて推進。 • 対応方針等 後 の 平成26年度 平成29年度 実施事項 平成27年度 平成28年度 改 善 中長期計画を前倒しし 年4回の検討会を 継続 て見直し、計画に組み プランの推進 計画の推進 エ 実施 込む。 対 程 応

	今後の取組み										
			゛キショップ豊栄駅店 23年度評価において								
		ī	改善・対応区分	改善・対応済る	み ○ 改善・対応	中検討中	実施しない				
	前	年月	度の改善・対応内容	Suicaの導入、売れ筋商品の発掘(麹入り塩納豆、トマト梅酒)、外販商品の販路拡大(会議用・イベント用飲料)							
2	今後の	今往	後の改善 ・対応方針等	売れ筋商品の発掘(商品の入れ替え)、	外販商品の販路拡大					
	の改		実施事項	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	善対	工程	売れ筋商品の発掘	継続	継続	継続	継続				
	水応	-	外販商品の販路拡 大	継続	継続	継続	継続				

	今後の取組み										
	中县	長期	計画に掲げた事業毎	に具体的なアクショ	ンプラン	を作成する。)				
		7	收善・対応区分	改善・対応済る	ب •	改善・対応	中検討中	実施しない			
	前	年月	度の改善・対応内容	「うどん・そば屋」の閉店	を受け、「	道の駅豊栄」の	の見極めがつくまで、プラ	ン作成を先延ばしした。			
3	分後	今往	後の改善 ・対応方針等	「うどん・そば屋」の営業不振と「道の駅豊栄」管理営業事業の着手という大変 革により、中長期計画そのものを再編せざるを得なくなった。							
	の改		実施事項	平成26年度	平成	27年度	平成28年度	平成29年度			
	改善・対応	工程	中長期計画の前倒し見直し	「道の駅豊栄」の 見極め	中長期計 直し	画の前倒見	プランの作成	計画の推進			
	応										

(2) 前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

今後の取組み

中長期計画の見直しとアクションプラン作成に早急に取り組むことが必要である。

		改善・対応区分	改善・対応済る	み 改善・対応	中 検討中	実施しない			
	前年	≡度の改善・対応内容	中長期計画の見直しには、「道の駅豊栄」の26年度経営状況の見極めが不可欠である。						
今後の	計画の前倒し見直し								
の改		実施事項	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
善 対	程	中長期計画の前倒し見 直しを実施	「道の駅豊栄」の経 営状況の見極め	中長期計画の前倒し見直し	プラン作成	計画の推進			
応									

今後の取組み

ブランド化によるまちづくり、賑い創出事業に関して、会社、行政、商工会、自治会等の関係機関とのネット ワーク強化が必要である。

		改善・対応区分	改善・対応済る	み ● 改善・対応	中検討中	実施しない		
前年度の改善・対応内容			ブランド化によるまちづくり、賑わい創出の成果は、十分ではないが、行政、商 工会、自治会等関係機関とのネットワークづくりは、各イベント、行事、観光事 業、特産物研究協議会、各自治協議会等その関係強化に努めた。					
今後の	今	後の改善・対応方針等	引き続き、その関係	強化に努める。				
改善善		実施事項	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
善対	工程	関係機関との関係強化	継続	継続	継続	継続		
応	ļ							

今後の取組み

収支回復に向けて、ブランド化によるまちづくり、賑い創出事業を具体的なアクションプランを作成するととも に、早期に実施することが必要である。

		改善・対応区分	i	改善・対応済る	4	改善・対応	中	検討中	実施し	しない
	前年	E度の改善・対応内容	状況が大きく変化したのでアクションプランの作成を「道の駅豊栄」の見極めが つくまで先延ばしした。							
今後の	今	後の改善・対応方針等	「道の する。	駅豊栄」の経	営状況を	見極めたう	えで、「	中長期計画の前	前倒 し見直 しを	実施
改		実施事項	平	成26年度	平成	27年度	平	成28年度	平成29年原	变
善 対		中長期計画の前倒し見 直しを実施		駅豊栄」の経 の見極め	中長期計 し見直し	一画の前倒	プラン	作成	計画の推進	
応										

今後の取組み

団体は本来豊栄地区のまちなか活性化を目的としたものであるが、近年の状況を見ると収支的には「ヤマザキショップ豊栄駅店」の収益に頼る部分が多く、活性化が実現されているのか疑問である。今後の団体のあり方についても検討が必要である。

改善・対応区分		改善・対応区分	改善・対応済る	み ● 改善・対応	中検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容					福島潟自然文化祭、阿賀! つり及び豊栄大民謡流し	野川ござれや花火、北区 等各実行委員会として活	
今後の	今	後の改善・対応方針等	「ヤマザキショップ豊栄駅店」は安定はしているものの、大きな収益は望めないので、「道の駅豊栄」「豊栄駅前時間貸駐車場」の収支を改善し、より強固なものにする。				
改善		実施事項	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
善対	工程	「道の駅豊栄」収支改 善	売店経営の見極め	中長期計画の見直し	プラン作成	周辺開発の検討	
応	-	時間貸駐車場収支改善	継続	継続	継続	継続	

今後の取組み

赤字決算となった駅中売店(ヤマザキショップ豊栄駅店)について、増収策と併せて、経費削減策を検討・実行する必要がある。

		改善・対応区分	改善・対	が済み	● 改善・対応	中 検討中	実施しない
	前年	≡度の改善・対応内容	従業員の見習い	ハ期間のタ	短縮と売れ筋商品	の発掘に努める。	
今後の	今	後の改善・対応方針等	店舗賃料の減り売れ筋商品の				
改		実施事項	平成26年原	变	平成27年度	平成28年度	平成29年度
善対	工程	JRへの賃料減免申請	減免申請済み	継	続	継続	継続
応		売れ筋商品の発掘	継続	継	続	継続	継続

今後の取組み

「道の駅豊栄」を活用した特産品の販売など、地域の特色をアピールする取組みを強化することが望まれる。

改善・対応区分			改善・対応済る	み 改善・対応	中 検討中	実施しない	
	前年	F度の改善・対応内容	「道の駅豊栄」営業権の取得がH26. 4. 1であるため、25年度は具体的な 取り組みはしていない。				
今後の	今	後の改善・対応方針等	地域の特産品を優先した品揃えに切り替える。地域の特色を内外にアピールする。				
改善善		実施事項	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
-	工程	品揃えの変更	逐次実施している	継続	継続	継続	
対応		内外にアピールする	道の駅連絡会議で PRする	スタンプラリーで 紹介する	継続	継続	

改善指示事項

本来のまちづくり会社としての役割が十分機能しているとは言えず、今後の事業展開のあり方を引き続き検討す る必要がある。

改善・対応区分			改善・対応済る	み 改善・対応	中 ● 検討中	実施しない		
	前年	≡度の改善・対応内容	十分とはいかないかも知れないが役割は果たしていると考えている。資金的裏付 けがない分、目立たない。					
今 今後の改善・対応方針等 資金的裏付けを見極めた上で、27年度の中長期計画の前倒し見直しに編後								
の改善		実施事項	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
善 対	工程	支援事業の実施	見極め	中長期計画に織り 込む	プラン作成	計画の推進		
冷応		地域の活性化支援	見極め	中長期計画に織り 込む	プラン作成	計画の推進		

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

財務の健全性

H25年度の当期純利益が16,215千円(うち受贈益15,400千円)であったこと、「道の駅豊栄」運営初年度の経費、売店の収益等々から鑑み、H26年度決算において税引き後5,426千円の黒字を見込んでいる。健全性は将来的にも十分維持可能と思われる。

団体の自立性

団体の自立の根源は、財務の健全性にあり、それが維持可能ということであれば、自立はより確実なものとなる ことは明白であり、まちづくり会社としての使命をはたしつつ、株式会社としての自立を十分果たしていけるも のと思う。

経営の効率性・適正性

今期は、取締役9名中3名の辞任であったが、補充することはせずに、6名という少数精鋭で運営していくこととした。全員が、非常勤、無報酬という体制の中においては、少数であることが、より効率的で、よりスピーディーな運営が可能となる。

その他

新潟市の用地を賃借し、豊栄駅前有料時間貸駐車場は、利便性が高く、年々、稼働率が上昇し、安定した収益が 見込めるようになった。ただし、市の用地であるがために、いつ取り上げられるかという不安が付きまとう。

総括的な所見

財務上の健全性が見込めることから、(1)将来の道の駅の大規模修繕のために蓄える(2)地域の活性化と賑わい創出のための事業を支援する(3)「道の駅豊栄」の周辺開発を検討することを優先順位とする事業計画を作成することが可能となった。

【所管課による評価】

現状に対する評価

H25年度収支により損失を解消したことは大いに評価できる。今後は「ヤマザキショップ豊栄駅店」や「道の駅豊栄」等の収益事業を安定させることに併せ、新規事業への取り組みも検討する必要がある。

課題及び改善すべき事柄

「道の駅豊栄」等の収益事業により財政基盤を確立し、まちの活性化へ向けたプランづくりの見直しに取り組む 必要がある。中長期計画「ステップアップ2016」の見直しを早期に実施する。

今後の指導方針

各収益事業の安定化に向けた指導・助言を行うとともに収益を有効に活かすプランづくりを進める。

【今後の取組み】

- 地域の特色を活かしたブランドづくり、特産品の販路拡大など、内外へアピールする事業を展開する。
- ② 「ヤマザキショップ豊栄駅店」の経営や「道の駅豊栄」の管理運営等の収益事業の安定に努める。
- ③中長期計画「ステップアップ2016」の見直しを含めたアクションプラン作成の検討をおこなう。

4

【総合評価】										
概ね良好				本的な対応が必要						
総括的な所見										
今後の取組みに対する評価,改善指示事項										
	ラ彼の収組みに対する評価、									
【総合評価を受けての団体と	~1.ての決音】									
	. U CV/八心】									
FW A = 7 / 7 / 1 / 2 - 1 - 2 / 1/2 - 1										
【総合評価における改善指示		**= * - -								
	以	善指示事項								
	-									
今 今後の改善・対応方針等 後	Ī									
後の 実施事項 ・ エ	亚代06年中	亚代07左连	亚芹20左连	亚代00左连						
実施事項	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度						
・ エ 対 程 応										
心										
	¬L·	羊化二声石								
	以	善指示事項								
A A44 6 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4										
今の改善・対応方針等後	Ť									
0	T-1005		T	T-2006						
今 今後の改善・対応方針等後 の 改 実施事項	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度						
· 工 対 程										
応										